

事務事業名	真岡市文化協会支援事業				担当	教育委員会 文化課 文化振興係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名			
施策名	6	文化芸術の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和55 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市芸術鑑賞会会則							
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	8. 芸術文化振興費				
事業概要	真岡市文化協会は、現在7部会137単位団体（芸能民舞吟部会30団体、舞台部会32団体、伝統部会21団体、展示部会15団体、茶華道部会15団体、文芸部会7団体、音楽部会17団体、会員数2,127人）が加入しており、文化団体相互の連絡協調を図り、個々の文化活動を育成するとともに、真岡市の文化水準の向上を図ることを目的に組織されている。主な事業は、文化祭協力、芳賀地方芸術祭への参加、研修会の開催をはじめ、各部会においても発表会や研修会等各種事業を行っている。文化協会と各部会の事務局を担当しており、各種会議・研修等の通知及び総会資料の作成等を行っている。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 補助金交付手続き（交付申請 内容審査 交付決定 請求 交付）を経て文化団体の活動を支援するため、各部会に助成し、各種事業を展開。市文化祭への参加・運営。芳賀地方芸術祭への参加等。 30年度計画 29年度に同じ	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	補助金額	千円	859	859	800	800	800
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 文化協会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	文化協会加入団体数	団体	150	147	141	137	137
	イ	会員数	人	2,411	2,338	2,129	2,127	2,127
	ウ							
	エ							
	オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 文化芸術活動の普及振興を図る	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	文化団体の増加数	団体	- 5	- 3	- 6	- 4	0
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 文化芸術活動に多くの市民に参加してもらい、豊かな心を育てる。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	13.5	15.3	15.7	16.1	17.0
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							

(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	859	859	800	800	
	事業費計(A)	千円	859	859	800	800		
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	250	250	250	250	
		人件費計(B)	千円	1,055	1,048	1,038	1,038	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,914	1,907	1,838	1,838	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	真岡市文化団体連絡協議会が昭和55年3月に事務局を社会教育課として設立され、平成8年6月に文化協会とし団体名を改称した。真岡市の芸能民舞吟、舞台、伝統芸能、展示、茶華道、文芸、音楽等の活動支援を目的とした。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	伝統芸能、文芸及び芸術の活動者が高齢化しているため、構成団体・会員は少しずつ減少している。若い世代において、価値観が多様化しており、新規会員の加入が停滞気味である。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	会員が高齢化しているため、新規会員を増やしたいとの声がある。